



## 地域医療者研修を実施しています！

例年当院の在宅推進委員会では、看護部地域連携委員会と協力し、訪問看護師さんやリハビリスタッフ、医療的ケア児を受け入れる保育所やこども園の看護師さんなど、地域の医療者の方々を対象とした研修を実施しています。今年度の研修は「気管切開・胃瘻について」「小児・新生児の呼吸管理・BLS」「小児の糖尿病の看護」「循環器疾患の酸素療法」「自己導尿について」

など毎月テーマを決めて講義や演習などを行っており、研修の参加者同士や当院スタッフとの情報交換、交流の場としても良い機会となっています。医療的ケア児支援法の施行により地域の状況も変化中、より一層地域の方々との連携や学びを深め、お子さんやそのご家族が安心して地域で暮らせるための支援を一緒に行っていきたいと考えています。

お問い合わせ：家族支援・地域医療連携部



### Concept コンセプト

●**基本理念** 周産期・小児医療の総合施設として、母とこどもの高度専門医療を通じて、親と地域社会と一体になってこどもたちの健やかな成長を目指します。

- 基本方針**
1. 患者の権利を尊重した医療の実践
  2. 安全・安心と信頼の医療の遂行
  3. 高度に専門化されたチーム医療の推進
  4. 地域の医療・保健・福祉・教育機関との連携
  5. 親とこどもが一体となった治療の推進
  6. こどもへの愛とまことに満ちた医療人の育成
  7. 医療ボランティアとの協調による患者サービスの向上
  8. 継続的な高度専門医療提供のための経営の効率化



### 編集後記

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの影響が心配される中、対面でのイベントを開催することができました。今号では、参加された皆様の「わくわく」「どきどき」な様子を掲載いたしました。今後も「笑児」のイベントを計画し、多職種で協働して参りますので、記事をお楽しみいただくと幸いです。(T.E)

委員長：貝藤裕史  
副委員長：大津雅秀 田原エリカ  
委員：深江登志子 細見能文  
林卓郎 井谷洋美  
藤田真理子 新井良子  
藤原健太 中村直子  
笹倉明子 時克志  
岡田瑞希 井上徹  
永安正典 東川果央

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立こども病院  
HYOGO PREFECTURAL  
KOBÉ  
CHILDREN'S  
HOSPITAL

〒650-0047  
神戸市中央区港島南町1丁目6-7  
TEL.078-945-7300  
FAX.078-302-1023  
https://www.hyogo-kodomo-hosp.com/  
e-mail:info\_kch@hp.pref.hyogo.jp

05病P2-014A4

# げんき No.83 カエル

兵庫県立こども病院  
ニュースレター



令和5年(2023) 12月1日

## こどもまつりを開催したよ！

保育士

2023年9月13日に、『こどもまつり』が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により講堂で開催するお祭りを中止していたので、4年ぶりの開催となりました。今年の祭りのテーマは、「多職種 × 遊び 病院職員とのコラボレーション」。看護部・リハビリテーション科・栄養管理課・保育の4つの領域がそれぞれの仕事の特徴を生かしたゲームを用意しました。子どもたちは、4つの色とりどりのコーナーが並ぶ会場に入ると「すごい！」と言って見回していました。ゲームにチャレンジする子どもたちをみんなで応援し、会場は熱気に包まれました。家族同士も会話弾み交流の機会になっていました。総勢59名の子どもたちは、ゲームをして景品をもらって大喜び、「たのしかった！」「ほしかったやつもらった！」と笑顔でお話してくれました。

看護部からは『ばいきんアタック！』：ゴム鉄砲でバイキンをやっつけます。背の高いバイキンの的が人気で、子どもたちはよく狙って当てていました。

リハビリテーション科からは『ポッチャ』：ポッチャとは投げてもよし、蹴ってもよし、誰でも参加できるスポーツです。ボールが的にピタッと止まると歓声があがりました。

栄養管理課のゲームは、『はこのなかみはなあに？』：箱の穴から手を入れて中に何が入っているか当てます。中身はくだものや野菜です。手を入れることを怖がる子どもはおらず、みんなボスッと勢いよく手を入れて、当たると笑顔になっていました。

保育コーナーは『ヨーヨー釣り』：ヨーヨーは今も昔も大人気。みんな真剣なまなざしで釣り上げていました。10個以上釣ったヨーヨー名人もいました。

保育士の元にはいろいろな職種から、「子どもたちに楽しんでほしい。何かできないかな。」という声が届きます。これからも、職員で力を合わせて治療する子どもたちを応援します！



『ばいきんアタック！』



『ポッチャ』



『はこのなかみはなあに？』



『ヨーヨー釣り』

## 勇気づけ合いながら

市川 裕太

現在、私は小児科医として働いていますが、小児科医を志したのは、小学生の時の闘病がきっかけです。私は、小学3年生の時にステロイド抵抗性ネフローゼ症候群と診断され神戸大学医学部附属病院小児科に入院しました。治療薬が効かず、末期腎不全になり、小学5年生で腹膜透析、小学6年生で母親の腎臓の移植を受けました。移植後もネフローゼが再発し、移植後リンパ球増殖症(PTLD)という死亡率が高い病気まで発症しましたが、当時担当医であった飯島一誠先生(現兵庫県立こども病院院長)、野津寛大先生(現神戸大学医学部附属病院小児科教授)がPTLDにリツキシマブが効いたという海外の論文を見つけ、当時未承認であったリツキシマブを投与する決断をしてくださり、PTLDは完治しました。また、驚いたことにネフローゼの再発まで寛解しました(その後、2014年にリツキシマブは難治性ネフローゼの治療薬として承認されました)。

入院中は本当に大変でしたが、自分は絵を描くことが好きだったので、その時間だけはつらいことを忘れられました。病院にいと病気のことばかり考えてしまいましたが、つらいときこそ一瞬でも病気を忘れる時間が大切だと思うので、今病気で入院している子どもたちも、何か夢中になれるものを作ってほしいと思います。また、自分は研修医の先生とたわいもない話をする時間もとても好きでした。この時間も病気のことを忘れられました。そのような先生方と接する中で、「お医

者さんっていい仕事だな。」と思うようになりました。また、「いつかこのつらさをよかったと思い返せるようになりたい。同じ病気で苦しむ子どもたちの気持ちをわかってあげられる医者になれば、自分が病気になった意味があるかもしれない。」と思うようになり、小児科医を目指しました。

現在、腎移植後22年が過ぎ、毎日免疫抑制剤の内服をして、定期的に外来受診もしていますが、元気に生活しています。結婚して、息子もできました。

担当したあるネフローゼ患者さんのお母さんが「市川先生が医者かどうかは関係なくて、子どもの時に同じ病気だった人が大人になって元気に普通に生きている、その姿を見るだけで勇気が出ます。」と言ってくださったことがあります。自分も同じ病気でがんばっている子どもたちを見るといつも勇気が出ます。これからも同じ病気の子どもたちと勇気づけ合いながらがんばっていきたいと思います。



## 子どもの誤飲

救急科 林 卓郎

子ども、特に乳幼児は好奇心が旺盛であり、なんでも口に入れる習性があることを我々大人は知っている必要があります。“誤飲”と似た言葉で、“誤嚥”がありますが、これは食物などが、なんらかの理由で、誤って喉頭と気管に入ってしまう状態を指します。実は誤嚥の方が窒息につながり得る怖い状況ですが、今回はお話ししません。ご縁があればまた今度…。

誤飲とは、食物以外の物を誤って口から摂取することと定義されます。何より大切なことは予防ですね。では、小さい体の乳児ではどれくらいの大きさのものを誤飲してしまうのでしょうか。“1円玉なら飲み込むよ”“500円玉は無理やろ〜”色々ご意見がありそうですが、実は直径40mm程度のもまで口に入ってしまう、誤飲の可能性があるのです！実際に確認して頂くにはトイレトペーパーの芯がおおよそ4cmですので、手に取りやすいかと思えます。口腔の大きさを模型にした誤飲チェッカー<sup>1)</sup>として製品化されているものもありますので、保育園や幼稚園、学校などでは有用かもしれません。また、“机の上に置いているから大丈夫”なんてことも意外と危ない場合があります。つかまり立ちが可能になったら、身長と手の長さの和が届く範囲になることも重要です。1歳児:約90cm、2歳児110cm、3歳児120cmとされています<sup>1)</sup>。これらを認識したうえで、子どもに与えるおもちゃやしまう場所を決めておきたいところです。

誤飲では、誤飲したものの、停滞している場合はその部

位が重要となります。

では、具体的に危険な異物について例を表に挙げますので表を参照してください。表に記載された物以外でも、鋭利な物は食道粘膜を損傷する可能性がありますので、注意が必要です。その他危険な物として、医薬品がありますが、今回は記載しておりませんのでご了承ください。

異物が停滞する部位としては、食道及び鼻腔がより損傷を受けやすく危険です。症状としては、鼻腔であれば鼻及び鼻の奥の痛み、時間が経てば膿性鼻汁があります。食道であれば胸痛、嚥下後すぐの嘔吐、腹痛などが典型的です。また、誤飲を自身で訴える事ができない場合も多く、保護者・医療者は不機嫌の持続、繰り返す嘔吐、胸痛や口に手をいれるなどの症状で想起することも重要です。

対応としては、家庭や学校で誤飲に気付いた際、声や咳も出ない(誤嚥による完全窒息の可能性)、顔色が悪い、もしくは反応が無く意識が無い場合は速やかに救急車を呼びましょう。命に危険が迫っているサインです。元気であっても、下記の異物の誤飲を疑えば速やかに医療機関へ受診することが大切です。誤飲の後に不機嫌の持続や胸痛、繰り返す嘔吐がある場合も受診が必要です。その他の異物誤飲や迷われた場合は、中毒情報センター<sup>4)</sup>や#7119/#8000などの電話相談を活用することも良いと思います。(今回は処方薬剤などについては記載しておりません。)

危険なもの	具体的な損傷・傷害
タバコ	ニコチン中毒：嘔吐・意識障害・痙攣・ショック(顔色不良など) 加熱式タバコの一部では金属片を含み、食道に引っ掛かると粘膜障害を生じ得る
ボタン型電池/コイン型電池	鼻腔・食道で停滞すると粘膜損傷を生じる(リチウム電池は特に危険性が高い)
磁石(複数もしくは磁性体と磁石)	磁力の強いネオジム磁石は特に危険 消化管の穿通/穿孔をきたす可能性が高い
吸水樹脂ボール/ビーズ	小腸以遠で腸液を吸収・膨張し閉塞する事がある → 腸閉塞となり手術治療を要する
炭化水素(灯油、ガソリン、その他鉱物油)	嘔吐などを生じる。吸引すると化学性肺炎となる可能性もある 各種溶媒に用いられている(接着剤・溶剤などにも含まれる)

1) <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201809/2.html>  
政府広報オンライン 誤飲チェッカーについて言及されています。  
[https://www.jfpa.or.jp/mother\\_child/prevent/002.html](https://www.jfpa.or.jp/mother_child/prevent/002.html)  
日本家族計画協会HP 誤飲についても情報がありません。  
2) [https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/caution/caution\\_047/assets/caution\\_047\\_210120\\_1.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_047/assets/caution_047_210120_1.pdf)  
消費者庁の誤嚥防止啓発リーフレット

3) [https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/caution/caution\\_058](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_058)  
消費者庁 磁石・吸水樹脂ボール誤飲についての注意喚起記事  
4) <https://www.j-poison-ic.jp/>  
中毒情報センターHP